

7. 事業が可能となっている要因

- ① 教室開始前に、事業の目指すものをスタッフ間で明確に設定し、意思統一を図ったこと。
- ② 参加者もスタッフも楽しんで事業に取り組んだこと。
- ③ 地元歯科医師会の理解と支援。

8. 課題

<共通>

- ① スタッフの認識と資質の向上、サービス事業者への意識啓発
- ② 家族への意識付けの手法

<特定高齢者>

- ① 修了者の継続支援を兼ね合わせたサポーターとしての活用

<要支援者>

- ① 通所サービスの流れに効率的に組み込むための検討
- ② 個人差を考慮した反復プログラムへのアレンジ